

第2回全日本学生選抜スキー大会（クロスカントリー競技） チームキャプテンミーティング資料

日時：令和6年2月4日(日) 15時～

会場：池の平スポーツ広場

1. 開会

2. 競技役員紹介

技術代表	萬羽 琢哉 (SAJ)
ASS技術代表	田中 正徳 (SAJ)
競技役員長	岡田 知之 (新赤倉SC)
競技委員長	山川 尚 (新赤倉SC)
副競技委員長	清水 直春 (妙高SK)
コース係長	岡田 常夫 (新赤倉SC)
会場係長	藤原林太郎 (新赤倉SC)
計時計算係長	中井 克己 (新赤倉SC)
庶務係長	腰丸 諭 (新赤倉SC)
セクレタリー	清水 要 (妙高SK)
ASSセクレタリー	齊木 直樹 (妙高SK)

3. 技術代表あいさつ及びジュリーメンバーの発表

技術代表	萬羽 琢哉 (SAJ)
ASS技術代表	田中 正徳 (SAJ)
競技委員長	山川 尚 (新赤倉SC)

4. 競技について

- ・SAJ競技規則最新版により実施します。

5. ワックスについて

- ・フッ素ワックスは使用禁止です。

6. 計時について

- ・計時方法は電子計時2系統と手動計時の併用とします。

7. コースについて

- (1) コースは別紙コース図(5km・1.4km)を使用します。
- (2) 競技開始2時間前にコース整備を完了し、コースオープンする予定です。
- (3) 5km競技は5kmコースを1周、10km競技は2周、15km競技は3周、スプリント競技は1.4kmコースを1周します。
- (4) 会場アップコースは会場内、トレーニングコース及びテストコースはコース図のとおりです。
- (5) ウォーミングアップは裏ビブにて行ってください。競技開始10分前にコースクローズします。
6日クラシカル競技及び7日フリー競技の女子スタート完了後、各男子スタート10分前まで各競技の出場選手に限りコースアップ可能とします。その際は、女子競技選手の妨げにならないよう十分気を付けてください。(場内放送にて案内します)
- (6) スプリント競技はトリプルトラックとします。(急な下り、コーナーはいれない)
- (7) クラシカル競技はダブルトラックとします。(急な下り、コーナーは入れない)
- (8) フリー競技はノートラックとします。
- (9) 競技中のクールダウンは、会場アップコースのみ利用可能です。

8. スタートについて

(1) ドローについて

- ①SAJポイントリストNo.3を適用。ジュリー立会いにて事前ドローを実施。
 - ②スプリント予選及びフリー競技はポイント順。
 - ③クラシカル競技はグループ順 3→4→2→1 とし、グループ毎のドロー。
- (2) クラシカル競技はスタートリスト記載の定時スタートとします。(15秒シングル)
- (3) フリー競技は7レーンのマススタートとし、「1分前」、「30秒前」をコールの後、ピストル音でスタートします。※セパレートコース進入はスタート5分前とします。

9. フィニッシュについて

- ・フィニッシュコリドーはフィニッシュ手前75mとし3レーン(スプリントは4レーン)設置します。コリドー内は競技規則343.11を適用します。

10. スプリント競技について

- (1) 走法はクラシカル走法で行います。
- (2) 予選は15秒のインターバルスタート(シングル)とします。
- (3) 決勝ラウンド進出者は、男子30名、女子30名、決勝ラウンド前のビブの配布をクラブハウス前で行います。
- (4) 準決勝、決勝進出者は次のとおりです。
各組の1位、2位を選出するほか、各組3～4位の中から準々決勝・準決勝のタイム順に上位2名を選出。(男女共通)※決勝Bは行わない。
- (5) 決勝ラウンドのスタート方法
 - ①役員の誘導でプレスタートラインに整列してください。
 - ②「位置について」のコールで前方のスタートラインに進み、「用意」のコールで静止した後、ピストルの合図でスタートします。
 - ③スタートから30mはレーン変更禁止です。
 - ④同一ヒートにおいて、2度目にフライングした選手は競技を中止しなければなりません。

11. オーバーラップについて

- ・7日フリー競技について、男女ともオーバーラップを採用します。

12. 選手用ビブについて

- (1) 選手用ビブはその日毎に競技終了後、チームでまとめて競技本部1階受付に必ず返却してください。(各競技フィニッシュ後の回収は行いません)
- (2) 脚ビブについて、スプリント競技決勝ラウンド及びフリー競技用に脚ビブを配布します。左右膝下外側から見て確認できるように、確実に着用してください。

13. 監督・コーチのスタートエリア及びコース内への立入制限について

- ・スタートエリア及びコース内の混雑を防ぐため、黄色コーチビブをつけた人以外は立ち入りできません。コース内では競技開始10分前にスキーを必ず外してください。
(黄色コーチビブは競技最終日にチーム毎にまとめて競技本部へ返却してください)

14. 応援について

- (1) 移動の際は、コースの外側を1列で歩き、選手の妨げにならないよう応援してください。
- (2) コース内ネット設置箇所はネットの外側、ネットの無い箇所はコースに入らないようにしてください。
- (3) スキーを履いてコースに入る場合(コーチビブ着用)は、コースを壊さないようにしてください。逆走は禁止です。また、競技開始10分前になりましたら、必ずスキーを外してください。競技中にスキーを履いての応援・移動はできません。
- (4) 3km地点及び4km地点への応援者通路を設けてあります。役員搬送のためのスノーモービルも通ります。ご注意ください。

15. 抗議について

- ・非公式記録掲示後15分以内に、規定どおりセクレタリーまで提出してください。

16. 棄権について

- (1) 競技開始前の棄権は、競技開始1時間前までにDS申告書とビブを持って競技本部1階受付まで申し出てください。
- (2) 途中棄権の場合は近くの競技役員に連絡し、ビブを外して他の競技者の妨げにならないように移動してください。

17. 記録発表について

- (1) 速報はフィニッシュ電光掲示板、放送及びセイコースポーツリンクにてライブ配信を行います。
- (2) 非公式記録及び公式記録は、公式掲示板に掲示します。

18. 救護について

- ・救護所は競技本部に設置し、応急処置のみ行います。

19. 表彰について

- ・その日毎に競技終了後、会場にて行います。(クラブハウス前)

20. リザルトについて

- ・新赤倉スキー学校ホームページに掲載します。[\(http://skischool.jp/\)](http://skischool.jp/)

21. 会場について

- (1) コース及び会場は別紙コース図・会場図のとおりとします。
- (2) 駐車場は限りがありますので、できる限り台数を減らしていただくようお願いします。
※クラブハウス側は競技役員専用、倉庫テントエリア側はチーム車両専用とします。それ以外及び満車時は会場付近のきたむら山荘前、クロスカントリーコース駐車場をご利用ください。
- (3) テントについて
 - ①テントエリアに設営してください。(各自テントの管理をお願いします)
 - ②テント内でのワックス等の処理についてシートを敷く等の配慮をし、ごみの持ち帰りを徹底してください。
- (4) トイレは、クラブハウス内1階及び2階トイレをご利用ください。2階トイレは、土足厳禁です。靴を必ず脱いでください。なお、クラブハウスは競技本部となっていますのでトイレ利用のみ可能です。休憩等はできませんのでご了承ください。
- (5) 会場内は全面禁煙とさせていただきますのでご協力をお願いします
- (6) 会場及びコース内は、芝生広場・ゴルフコースとなっていますので、ゴミの持ち帰りを必ずお願いします。